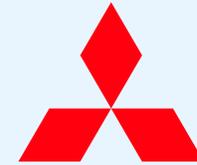


# 三菱ケミカルグループ株式会社 会社説明会（証券コード:4188）

三菱ケミカルグループ株式会社  
コーポレートコミュニケーション本部 IR部 部長  
千原 悠

# 私たちのPurpose

私たちは、革新的なソリューションで、  
人、社会、そして地球の心地よさが続いていく  
KAITEKI の実現をリードしていきます



MITSUBISHI  
CHEMICAL  
GROUP

Science.  
Value.  
Life.

私たちはScienceの力で、人、社会、そして株主  
の皆様にValueを提供し、Lifeに貢献します

# Brand Concept Movie

(2分26秒)



# 本日の内容

1. 三菱ケミカルグループについて
2. 経営方針「Forging the future 未来を拓く」
3. 株主還元

# 本日の内容

1. 三菱ケミカルグループについて
2. 経営方針「Forging the future 未来を拓く」
3. 株主還元

# 会社概要

商号 三菱ケミカルグループ株式会社

代表者 代表執行役社長 Jean-Marc Gilson  
※ 2024年4月1日付で筑本学が代表執行役社長に就任予定

資本金 500億円

従業員数 68,639名（連結）

関係会社数 593社

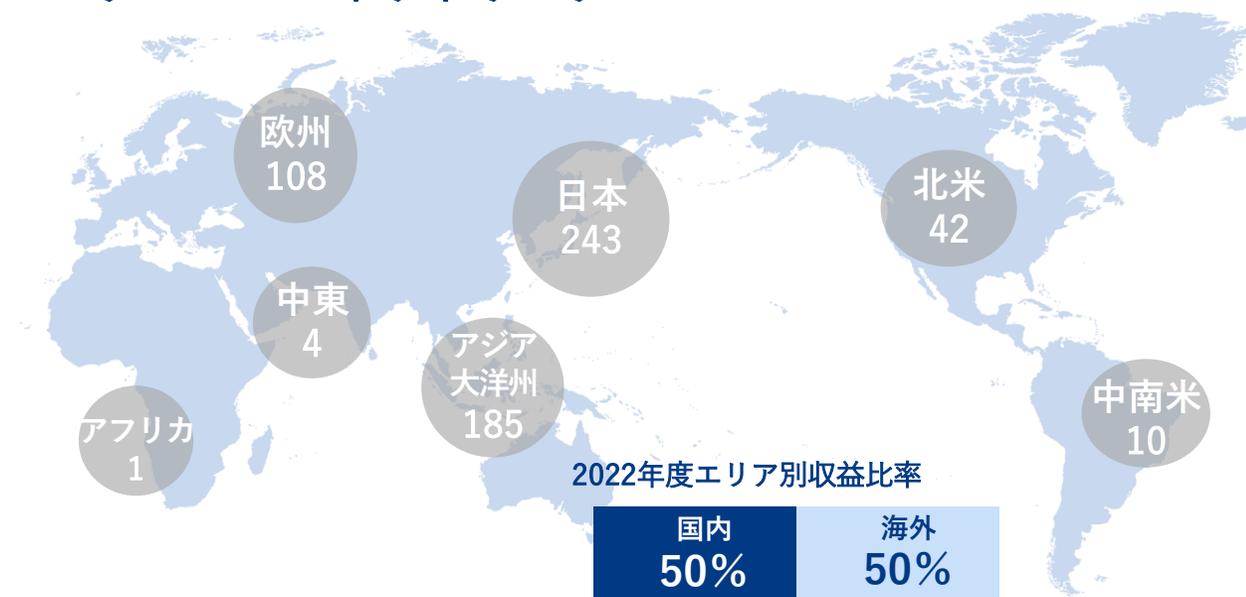
決算期 3月31日

※ 2023年3月31日現在



新代表執行役社長 筑本 学

## グローバルネットワーク



# 日本の化学産業の国際的ポジション (売上高)

(百万米ドル)

1位	ドイツ	BASF (BASF)	92,982
2位	中国	中国石油化工 (Sinopec)	65,848
3位	アメリカ	ダウ (Dow)	54,968
4位	サウジアラビア	サウジアラビア基礎産業公社 (SABIC)	43,230
5位	台湾	台湾プラスチックグループ (Formosa Plastics Group)	43,173
6位	イギリス	イネオス・グループ・ホールディングス (Ineos Group Holdings)	39,937
7位	中国	中国石油天然気 (PetroChina)	39,693
8位	オランダ	ライオンデルバセル・インダストリーズ (LyondellBasell Industries)	38,995
9位	韓国	LG化学 (LG Chem)	37,257
10位	アメリカ	エクソンモービル (ExxonMobil)	36,858
<b>11位</b>	<b>日本</b>	<b>三菱ケミカルグループ (Mitsubishi Chemical Group)</b>	<b>30,719</b>
12位	中国	ホンリー・ペトロケミカル (Hengli Petrochemical)	27,961
13位	アイルランド	リンデ (Linde)	27,926
14位	フランス	エア・リキード (Air Liquide)	27,148
15位	スイス	シンジェンタ・グループ (Syngenta Group)	24,900
16位	インド	リライアンス・インダストリーズ (Reliance Industries)	22,583
17位	中国	万華化学集団 (Wanhua Chemical)	22,561
18位	ブラジル	ブラスケム (Braskem)	19,575
<b>19位</b>	<b>日本</b>	<b>住友化学 (Sumitomo Chemical)</b>	<b>19,176</b>
<b>20位</b>	<b>日本</b>	<b>信越化学工業 (Shin-Etsu Chemical)</b>	<b>18,885</b>

(出典：C&EN's Global Top50 chemical firms for 2022)

# 業績推移

M&A・統合により企業規模を追求、不採算事業の構造改革を推進し、  
高成長・高収益型の企業グループへ成長

(売上収益：億円)

50,000

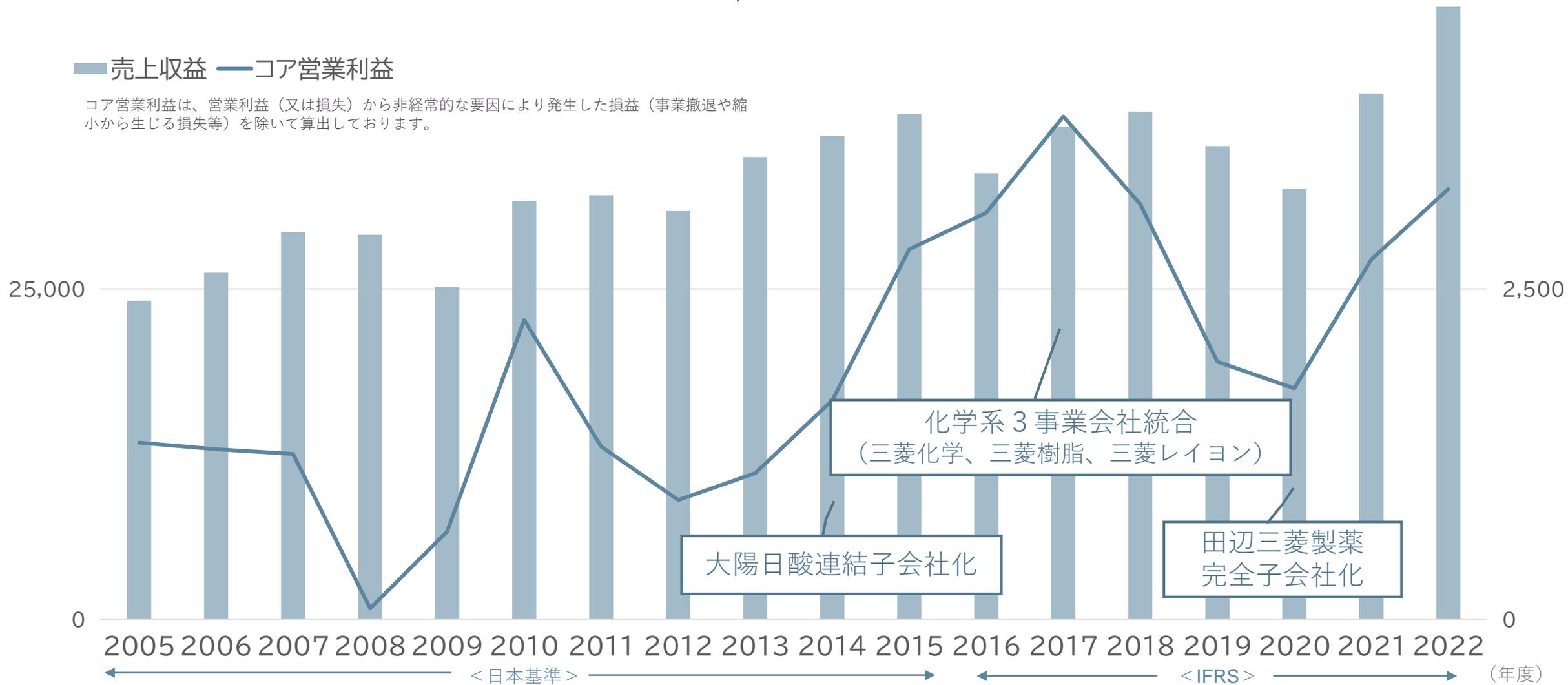
(コア営業利益：億円)

5,000

➡ 企業価値最大化に向けた「選択と集中」へ

■売上収益 — コア営業利益

コア営業利益は、営業利益（又は損失）から非経常的な要因により発生した損益（事業撤退や縮小から生じる損失等）を除いて算出しております。

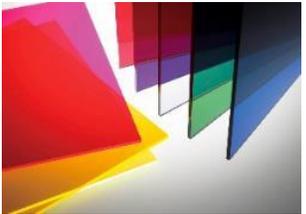


# 売上収益の事業構成比

## ベーシックマテリアルズ



## MMA

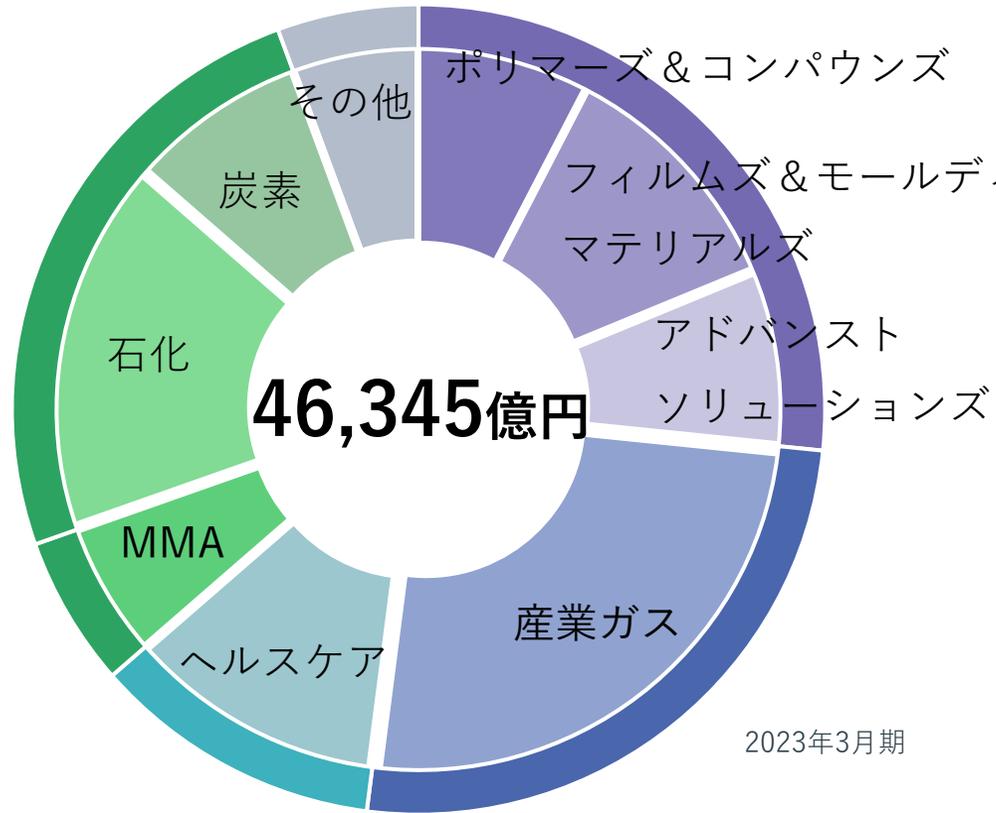
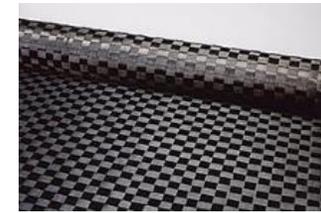


## ヘルスケア



## 産業ガス

## スペシャルティマテリアルズ



## 炭素繊維複合材料

軽量かつ高強度な炭素繊維複合材で、自動車や航空機の軽量化に貢献



## 半導体関連材料

半導体製造工程で使われるさまざまなプロセス材料や精密洗浄サービスをグローバルで展開



## インプラント用素材

医療機器・医薬品包装向け輸液バッグやチューブ、シリンジガセットなどに使用



## 食品包装材

EVOHは世界シェア40%以上



## 食品機能材

乳化剤のシュガーエステルは世界トップシェア



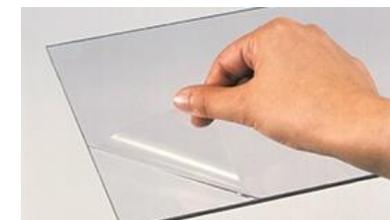
## 電池材料

電気自動車用電池向けに電解液と負極材を、また電池パック向けに熱制御部材を展開



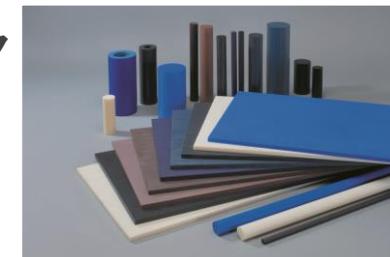
## ディスプレイ用部材

ディスプレイに適した機能部材を幅広く展開。光学用ポリエステルフィルムの世界シェア約20%。トップシェア



## 高機能エンジニアリングプラスチック

グローバルリーダーとして、産業機械、自動車、航空機、医療など、幅広い分野で展開。世界シェア30%、トップシェア



## 食品包装用フィルム

バリア性など高機能な製品を食品市場へ提供し、フードロス削減に寄与



## 産業ガス

産業ガス市場においてグローバルシェア4位、国内シェア1位



## 中枢神経

米国で約20年ぶりの新薬となる筋萎縮性側索硬化症(ALS)治療薬「ラジカヴァ」を発売(2017/8)

経口剤を米国(2022/6)、カナダ(2023/2)、日本(2023/4)、スイス(2023/8)で発売



## 免疫炎症

関節リウマチやクローン病、潰瘍性大腸炎などを適応症とするバイオ3剤「レミケード」「シンポニー」「ステララー」でシェアNo.1



## 糖尿病・腎

持続性GIP/GLP-1受容体作動薬「マンジャロ」を発売(2023/4)

自社創製の2型糖尿病治療剤「テネリア」「カナグル」「カナリア」、腎性貧血治療剤「バフセオ」等、糖尿病治療に貢献



## がん

MT-2111(抗CD19抗体薬物複合体)

- ・単剤療法：P1/2(日本)
- ・リツキシマブとの併用療法：P3(日本)

## MMA

### 幅広い用途展開

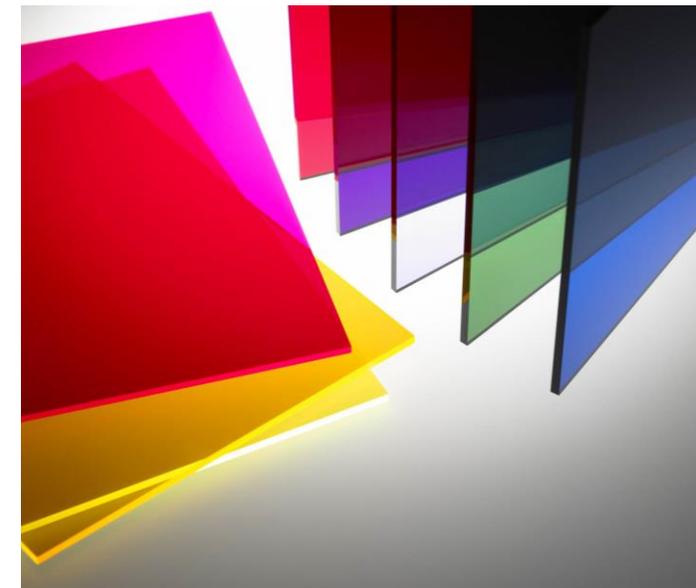
自動車のランプカバー、店舗の看板標識、照明器具、液晶導光板、水族館の水槽、接着剤、塗料など

### 世界シェア約30%のNo.1サプライヤー

世界で唯一3製法を保有し、高い競争優位性

### 世界供給ネットワークの構築

製造拠点の立地環境に最も適した製法を選択し、効率的に事業を展開



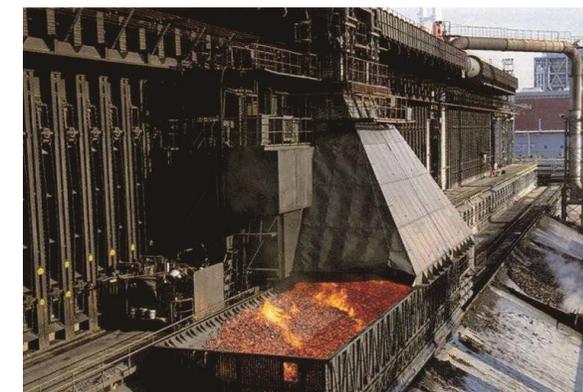
## 石化

石化原料、基礎化学品、  
ポリオレフィン



## 炭素

コークス、炭素材、カーボン  
ブラックなど



# 2023年度 第3四半期実績・通期業績予想

(単位：億円)

	2022年度 3Q累計	2023年度 3Q累計	増減	増減率	2023年度 通期予想
売上収益	34,062	32,451	△1,611	△5%	44,550
コア営業利益	1,779	1,839	60	3%	2,500
親会社の所有者に帰属 する当期利益	170	1,039	869	510%	1,350

## 2023年度 第3四半期実績

- 市況の低迷など厳しい事業環境が続くなか、価格マネジメントとコスト構造改革の進捗などにより、売上収益は前年同期比5%減収ながら、コア営業利益は3%の増益となった。
- 半導体関連市場や広く産業材等において需要低迷の影響が継続し、回復に時間を要していることからスペシャリティマテリアルズ及びベーシックマテリアルズの販売数量が前年同期比で大きく減少した。一方、産業ガス及びヘルスケアにおける北米ラジカヴァの引き続きの好調などが寄与し、コア営業利益は前年同期を上回った。

## 2023年度 通期業績予想

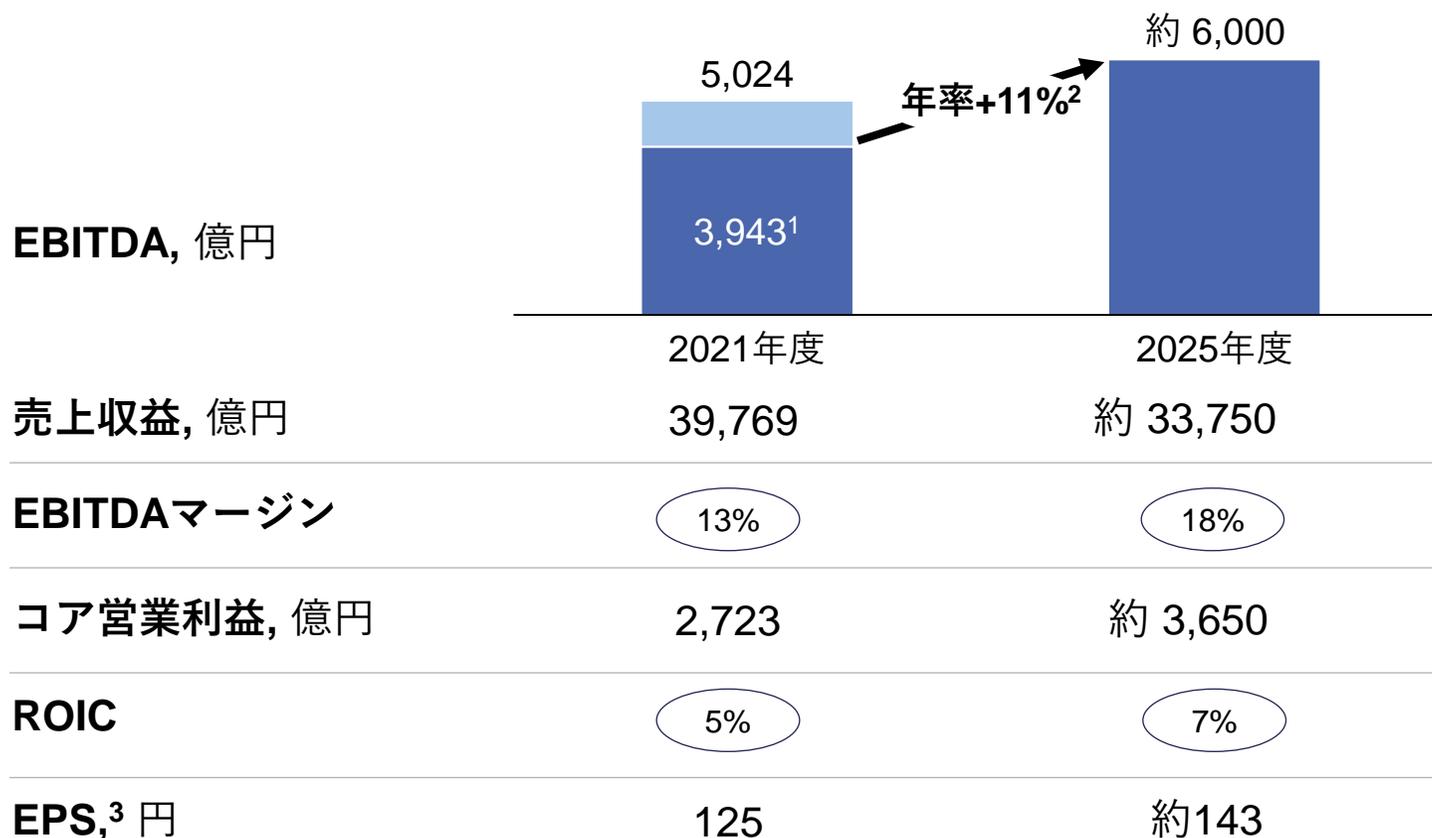
- 第4四半期も需要の本格的な回復は見通せず、スペシャリティマテリアルズ及びベーシックマテリアルズの事業環境は低調継続を見込むものの、産業ガス及びヘルスケアの好調維持や事業ポートフォリオ改革の推進等に伴う非経常利益の計上を見込み、通期業績予想を据え置く。

# 本日の内容

1. 三菱ケミカルグループについて
2. 経営方針「Forging the future 未来を拓く」
3. 株主還元

# MCGは財務目標の達成に引き続きコミットしており...

## 財務目標



1. 石化／炭素を除外した2021年度EBITDA
2. 石化／炭素を除外したEBITDAオーガニックグロース
3. 基本的一株当たり当期利益

## 非財務目標



4. 石化／炭素を含むMCGの29%削減目標に基づき概算
5. 2025年度までの産業廃棄物埋立量の削減率
6. 毎年実施している顧客アンケートに基づく満足度水準
7. 従業員意識調査における設定項目への好意的回答者の割合
8. 役員の性別、経歴、国籍の多様性の割合。目標40%

注: pp = パーcentageポイント

# ...MCGは「Forging the future 未来を拓く」の取り組みを加速することで逆風の影響を最小化する



## 市場の成長性、競争力、サステナビリティにフォーカスしたポートフォリオ

グローバルに収益性の高い市場への注力

特定のアプリケーションへの注力

エンドマーケットへの一層のフォーカス

サステナビリティ製品のリーダーポジション確立



## グループ全体におけるコスト構造改革

オペレーショナルエクセレンス

調達最適化



## 分離・再編し、独立化を進める事業

石化・炭素事業エグジットの継続的な取り組み

事業ポートフォリオの戦略的な見直し



## スリム化、デジタル化、エンパワーメント<sup>1</sup>

組織のスリム化・デジタル化および人材の活性化

業務プロセスのデジタル化およびERPランドスケープの最適化



## 戦略的なキャピタル・アロケーション

将来の成長資調達に向けバランスシートの改善

1.旧名称「戦略遂行のためのスリムな組織」

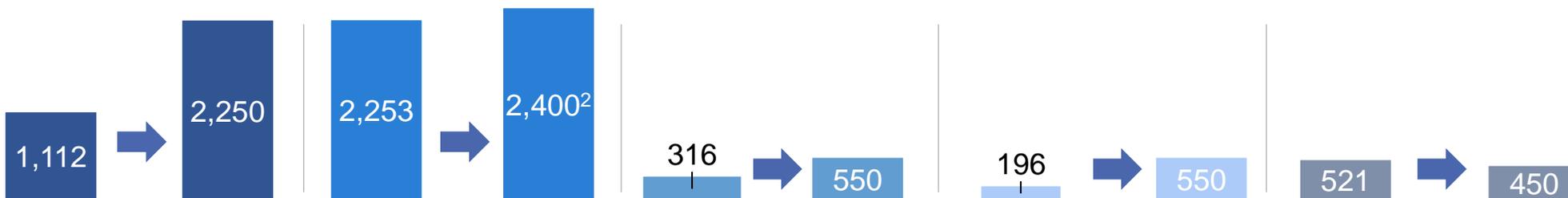
# スペシャリティマテリアルズと産業ガスがMCGの成長の原動力

2022年度 → 2025年度

事業  
セグメント<sup>1</sup>



EBITDA,  
億円



EBITDA  
マージン



コア  
営業利益率



ROIC



1. その他セグメントのEBITDA: 2022年度175億円、2025年度約250億円 2. 日本酸素HDの中期経営計画で開示されている幅の中間値を切り上げ  
3. ジレニア仲裁判断の結果1,259億円を控除 4. 米国プラントの大型投資影響を含む。当該投資を除いたROICは9% 5. 2025年度はMCG単独ベースの数値

私たちの将来の目指す姿

世界をリードするスペシャリティ  
製品のサプライヤーとして、  
革新的なソリューションを世界中の  
顧客、株主、社会に提供し、  
優れた価値をもたらす



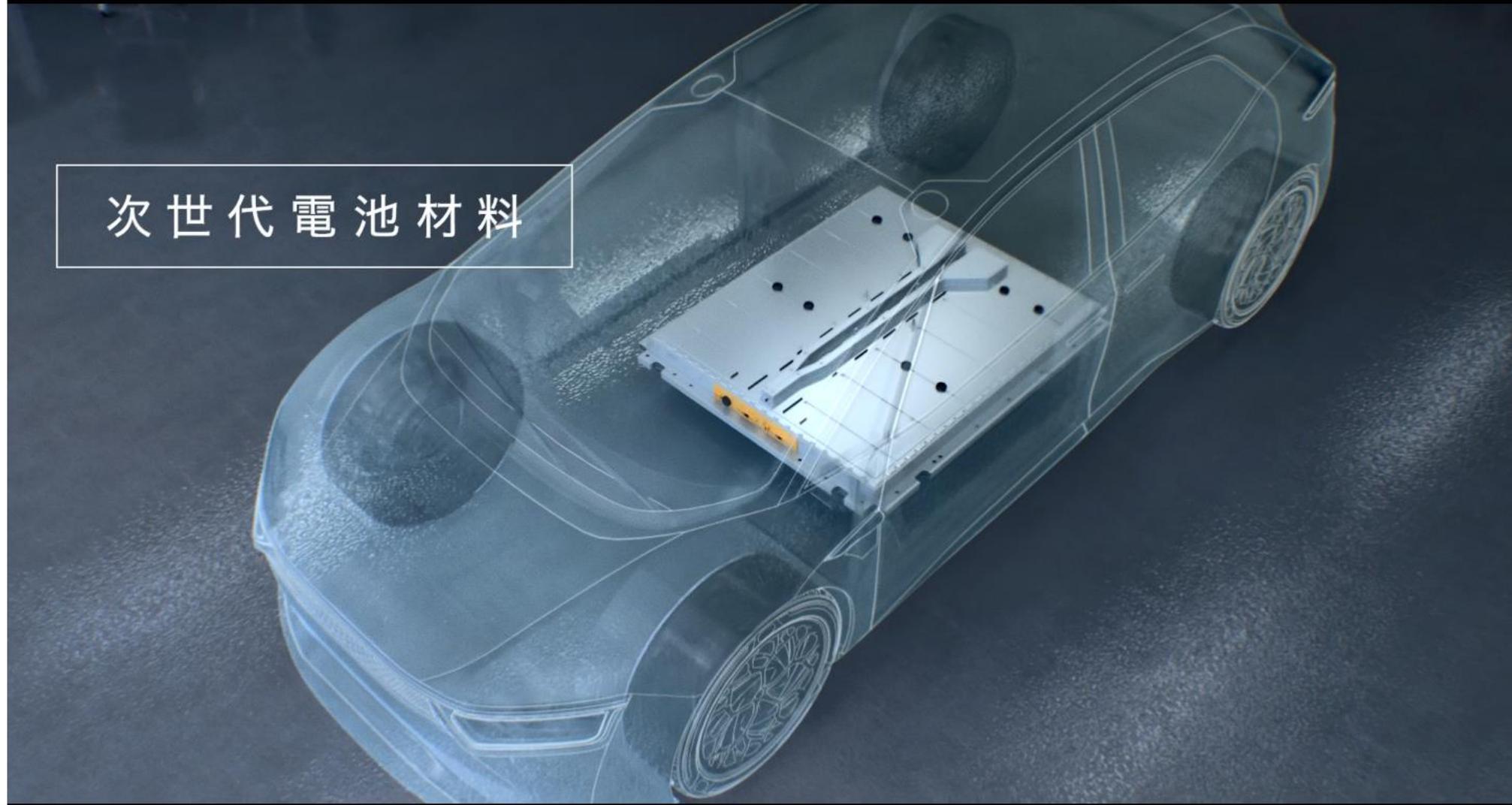
# MCGはコア市場全体にわたって良好なポジションを構築

x% 2030年までの各市場の成長率予測

市場 製品 ライン	 <b>14% p.a.<sup>1</sup></b> EV/ モビリティ	 <b>10% p.a.</b> デジタル	 <b>8-10% p.a.</b> メディカル	 <b>7% p.a.</b> 食品	 <b>3-5% p.a.</b> その他 <sup>2</sup>
	ポリマー コンパウンズ	✓	✓	✓	✓
コンポジット ソリューションズ <sup>3</sup>	✓	✓	✓	✓	✓
スペシャリティ フィルムズ	✓	✓	✓	✓	✓
カスタム ソリューションズ	✓	✓	✓	✓	✓

1.EV/モビリティにおいて当社がスコープとする製品の市場成長率 2.建設・インフラ、産業、消費財を含む 3.アドバンスドマテリアルズの製品ラインを含む

# Material Innovation for Mobility (30秒)





# EV/モビリティ: MCGはEV・自動車向け高付加価値ソリューション の幅広いラインアップを市場に提供

抜粋例

## 内装品

- 内部構造部材 (CF-FMC™, KyronMAX™, KyronTEX™, GMT GMTex™)
- 内装表皮材、シート、装飾部品 (SymaLITE™, XANTAR™, ACRYPLEN™, DURABIO™, Marvyflo™, Tefabloc™, Sunprene™)
- ディスプレイフィルム、フレーム (DURABIO™, MOSMITE™)
- エアバッグ (THERMORUN™)

## エンジン

- モーター用筐体、ローター (CF-FMC™, KyronMAX™)

## EV電池材料

### バッテリーセル用材料

- 電解液 (Sol-Rite™)
- 負極材 (MPG and ICG)

### バッテリーパック用材料

- 炭素/ガラス繊維性の筐体構造部品 (GMT, KyronTEX™, Prepreg, rCF, GMT eFR)
- バッテリー冷却システム/チューブ (MODIC™, ADTEX™)
- バッテリースペーサー

### 燃料電池用材料

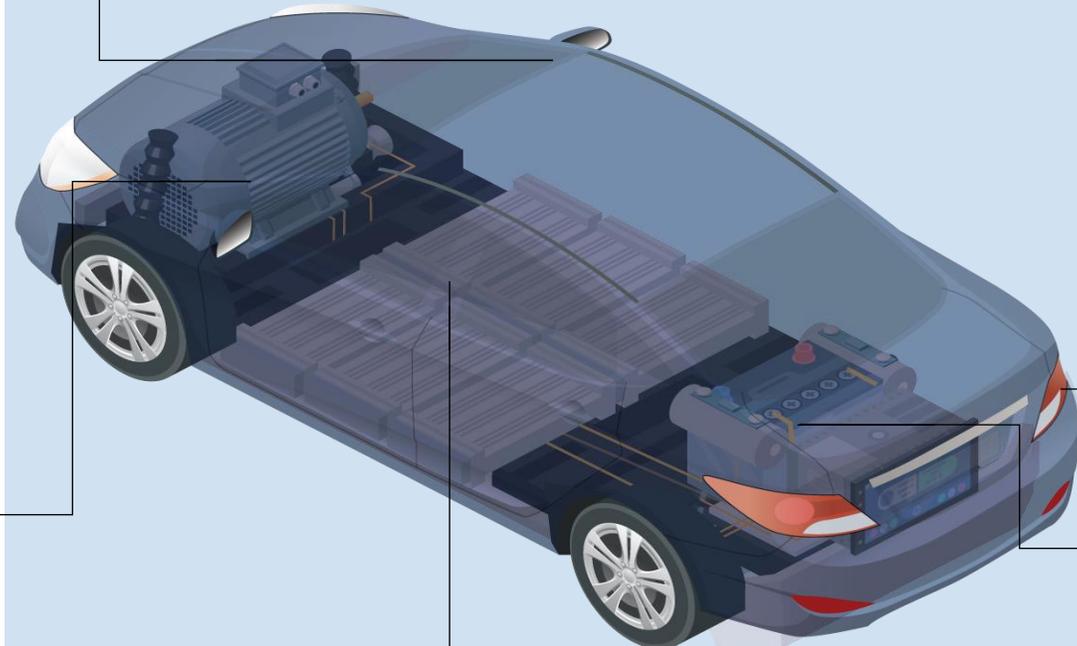
- 圧力容器、輸送 (GMT eFR, Pyrofil™ CF)
- 接着性ポリマー (ADTEX™)
- ハイガスバリア性樹脂 (SoarnoL™)
- ガス拡散層 (Pyrofil™ GDL)

## 外装品

- ボディパネル (Prepreg Compression Molding, CF-FMC, Forged Molding Compound™)
- ドア、クロージャー (Dynaflex, CF-FMC™, KyronMAX™)
- シーリング材 (Trexprene™, Sunprene™, Tefabloc™)
- グリル、ピラー、フェンダーガーニッシュ (DURABIO™)
- ライト (ACRYKING™, XANTAR™, DIAKON™)

## 電装部品

- 高圧電線 (Olefista™, Tefabloc™)
- コネクタ (NOVADURAN™)





# メディカル: MCGは幅広い医療用途に対応した様々なソリューションを提供

抜粋例

## インプラント

- 長期・短期インプラント用樹脂  
(ChronoFlex™, ChronoSil™, ChronoFlex AR/LT™, ChronoThane P™, ChronoThane T™)
- 長期・短期インプラント用素材(Zeniva™, Extrulen™, Chirulen™, LSG PPSU & PEEK)

## 特殊ポリマー

- 歯科材料用アクリルポリマー  
(Colacryl™, Acrycon™)
- コンタクトレンズおよび診断機器用特殊シランおよびシリコーン(Bimax™)



## シングルユース製品

- 輸液バッグ、輸液チューブ、注射用部品といったシングルユース医療用ポリマー(ZELAS™, ChronoPrene™, HydroMed™, HydroThane™)

## 医療品包装

- PET(Hostaphan™)
- PVC (VINYFOIL™)
- CPP (SUPERFOIL™)
- バイオベースのPTP (Superfoil B™)
- スペシャルティレジン (XANTAR™, jER™, ZELAS™)
- 錠剤コーティング剤 (GOHSENOL™)



# デジタル: MCG製品は電子機器のエコシステムにおいて重要な役割を担う

抜粋例

## プリント基板

- プリント基板製造工程における静電気障害防止用ESD材料 (Semitron™)

## ディスプレイ材料

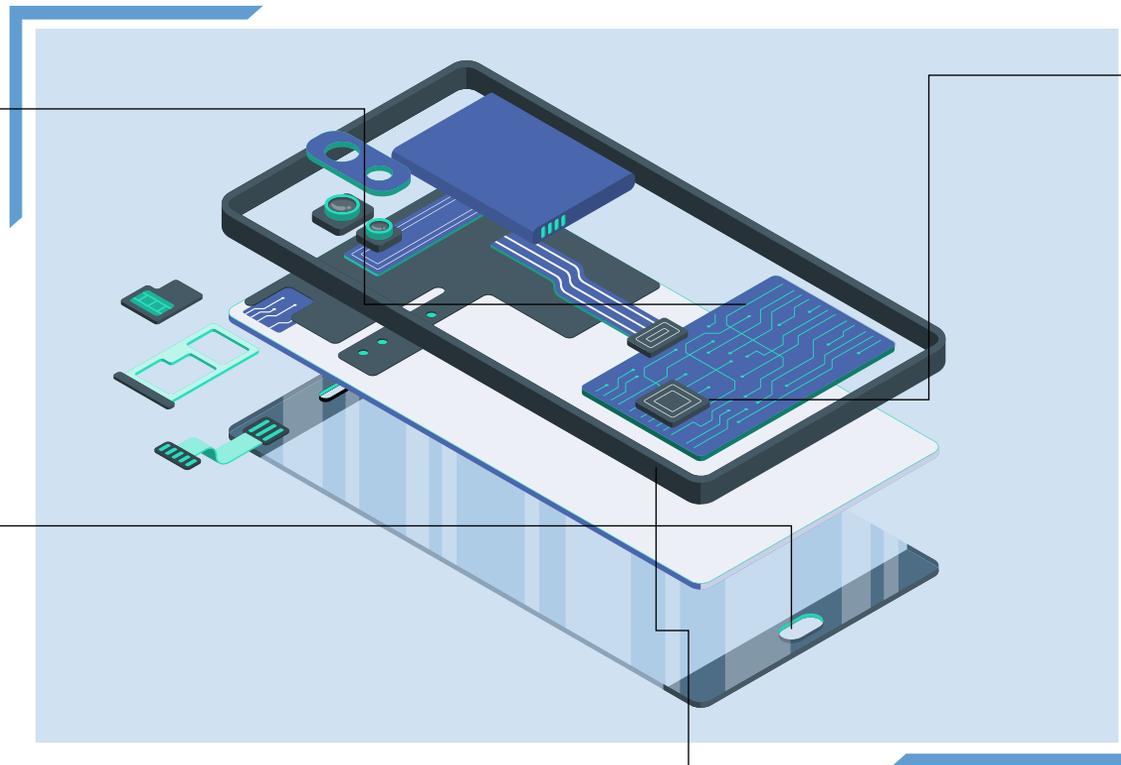
- タッチパネル用バイオベースポリカーボネート樹脂 (DURABIO™)
- LED蛍光体
- FPD向けポリエステルフィルム
- ディスプレイフィルム材料 (GOHSENOL™)
- 偏光板用接着剤 (GOHSENX™)

## デバイス用筐体

- スマートフォン筐体用バイオベースポリカーボネート樹脂 (DURABIO™)

## 半導体製造

- フォトリソグラフィ材料 (Lithomax™, aquaSAVE™)、EUVドライレジスト材料
- ウエハー製造用材料 (三菱合成石英)
- 封止材および絶縁材料 (エポキシ樹脂 jER™)
- 窒化ガリウム(GaN)ウエハー
- CMP(研磨)後洗浄剤(MCX-SDR4)
- 精密洗浄サービス
- ウエハー洗浄剤(Starシリーズ)
- 生産プロセス用樹脂 (Semitron™, TECHTRON™, GOHSENX™)
- 超純水製造用イオン交換樹脂 (DIAION™)





# 食品: 先進的で持続可能性に貢献するソリューションを提供

抜粋例

## 食品添加剤



- 酸味料(酢酸、二酢酸ナトリウム)
- 日持向上剤 (酢酸ナトリウム)
- 乳化剤 (RYOTO™)
- 乳酸菌 (LACRIS™)
- 合成甘味料 (Erythritol)
- 抗菌剤 (Wasaouro™)

## 包装用コーティング



- 食品包装フィルム、紙材向けコーティング素材 (TECHBARRIER™)
- 異種材料との接着性樹 (MODIC™)
- 高ガスバリア樹脂 (SoarnoL™, Nichigo G-Polymer™)
- 堆肥化可能な生分解性コーティング素材 (BioPBS™, FORZEAS™)

## 包装フィルム



- 多層共押出フィルム (DIAMIRON™)
- 粘着性ストレッチフィルム (DIAWRAP™)
- ポリアミドフィルム (SANTNYL™, SUPERNYL™)
- 高ガスバリア樹脂 (SoarnoL™, Nichigo G-Polymer™)
- 堆肥化可能な生分解性包装フィルム素材 (BioPBS™, FORZEAS™)

## 食品業界向けサービス

- 液体精製分離向けイオン交換樹脂 (DIAION™)
- 統合型水処理システム (Mitsubishi Chemical Aqua Solutions)
- 植物工場システム (Mitsubishi Chemical Aqua Solutions)



# 省エネルギーなど機能面からサステナビリティに寄与する製品に加え、リサイクル性、バイオマス由来など幅広い製品をコア市場に提供

抜粋例



## EV/ モビリティ

非可食および植物性バイオマスを原料とした**熱可塑性エラストマー**

**Tefabloc™**

10%の軽量化を実現し、優れた機械的性能を持つ、**バイオベースの成分を30%含むパウダースラッシュ**

**Marvyflo™**

**100% リサイクル可能で**、大規模生産をサステナブルに可能にする**CF高性能熱可塑性複合材**

**KyronTEX™**

耐薬品性と加工性に優れた**リサイクル可能なTPV (動的架橋型熱可塑性エラストマー)**

**Trexprene™**



## デジタル

耐久性と透明性に優れた**植物由来のエンジニアリングプラスチック**

**DURABIO™**

変性により耐溶剤性など様々な性能を付加した**特殊変性PVOH樹脂**

**GOHSENX™**

難燃性能を付与した**PFASフリーポリカーボネート樹脂**

**XANTAR™ XF Series**



## メディカル

イノベーション大賞を受賞した**世界初の医療用医薬品向けバイオPTPシート<sup>1</sup>**

**Superfoil B™**

水溶性、ガスバリア性、接着性などに優れた**PVOH樹脂**

**GOHSENOL™**

-  バイオベース / 生分解
-  リサイクル可能
-  その他のサステナブル素材



## 食品

業界トップレベルのパッケージング性能を備えた**リサイクル性の高いEVOH樹脂**

**SoanorL™**

優れた粘着性、透明性、防曇性を備えた**バイオベースの食品包装向けストレッチフィルム**

**DIAWRAP™ B10 Series**

多層シート包材向け**バイオベース接着剤およびイージーピール封止材**

**MODIC™**

印刷性・耐熱性に優れ、FDA/FCN承認の食品接触安全性を有する**バイオベースの生分解性樹脂**

**BioPBS™**



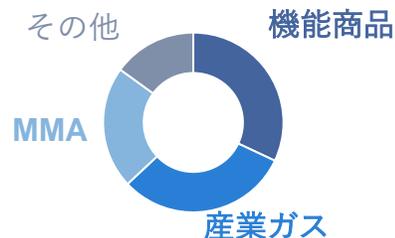
# キャピタル・アロケーションの原資をオーガニックグロースへの投資、株主還元の拡充、健全なバランスシート実現に配分

2023年度～2025年度

資本配分  
億円

方針

事業別設備投資



キャピタル・アロケーションの原資  
約2兆1,450億円<sup>1</sup>

48% 設備投資  
約 10,400

- 能力増強等の成長投資（例：ソアノール™、エポキシ、電解液、乳化剤）
- 投資利益率を重視

18% 研究開発  
約 3,800

- 事業インセンティブに沿った研究開発
- 研究開発費目標は売上収益の約3.5%

13% 負債削減  
約 2,700

- Net Debt/EBITDA目標: 3.0倍未満
- Net Debt/Equity目標: 1.0倍未満

9% 配当  
約 2,050

- 前年度比で配当増加
- 2025年度の配当性向35%

12% 戦略的資本枠の増加  
約 2,500

- 成長加速のためのM&A
- 自社株買いを含むその他の企業価値向上の施策

M&A、自社株買い、その他の成長・企業価値向上の機会に活用できる資本とレバレッジ余力を確保

1. 営業キャッシュフロー+研究開発費+事業売却による収入

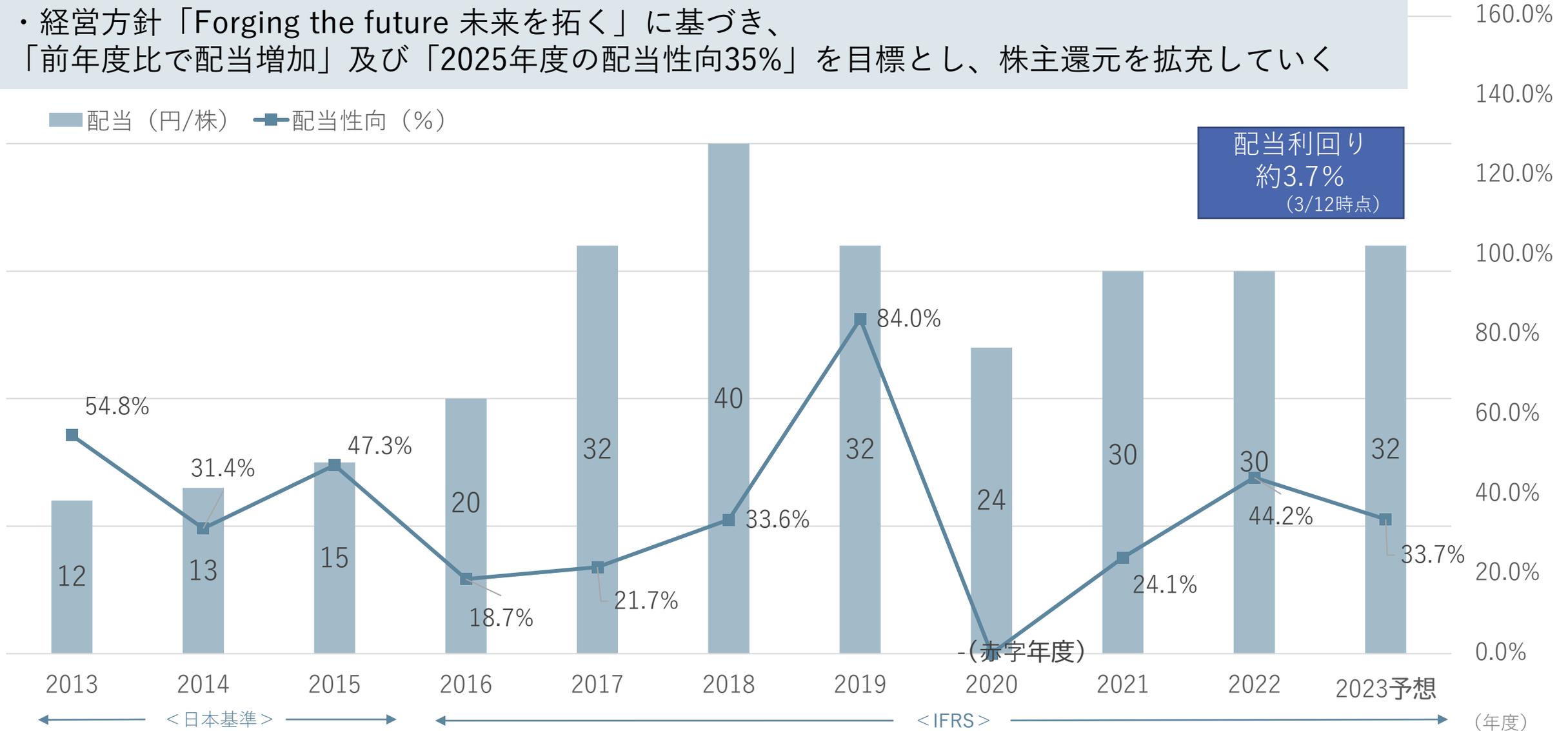
# 本日の内容

1. 三菱ケミカルグループについて
2. 経営方針「Forging the future 未来を拓く」
3. 株主還元

# 株主還元方針

- ・ 企業価値の向上を通じ、株主価値の向上を図る
- ・ 経営方針「Forging the future 未来を拓く」に基づき、「前年度比で配当増加」及び「2025年度の配当性向35%」を目標とし、株主還元を拡充していく

■ 配当 (円/株)    ■ 配当性向 (%)

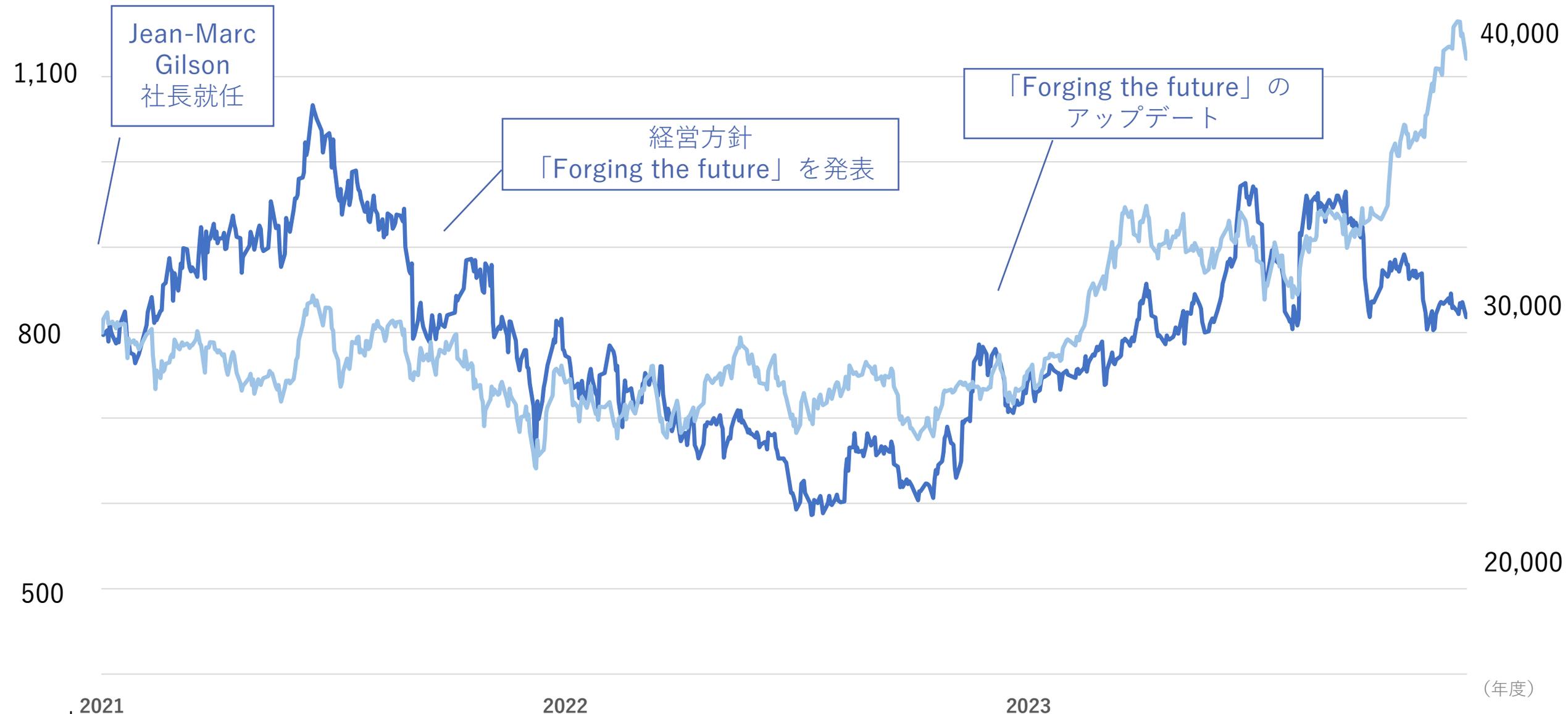


# 株価推移

— 三菱ケミカルグループ (左軸)

— 日経平均 (右軸)

(円)

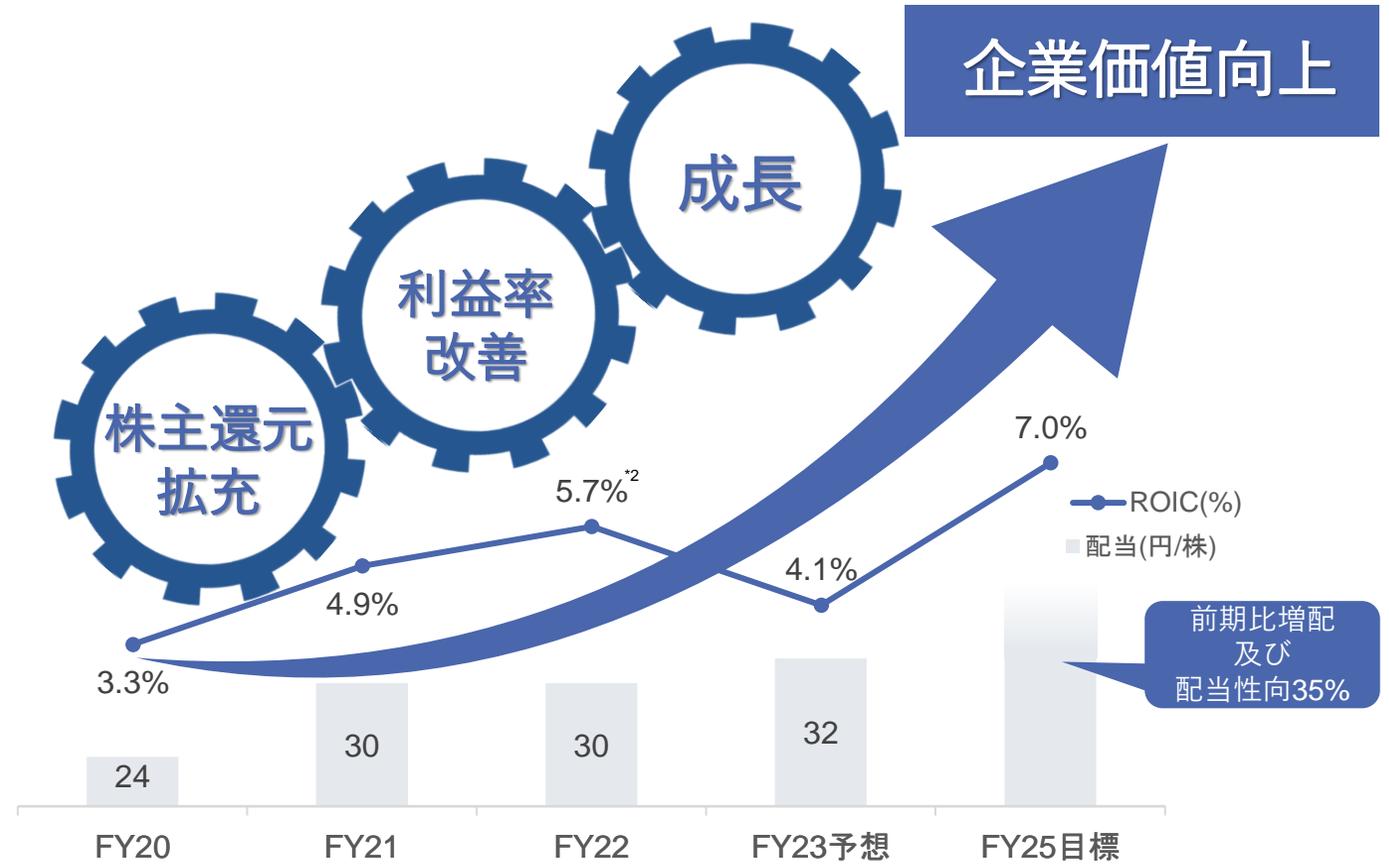


# 企業価値向上の実現に向けて

経営方針「Forging the future 未来を拓く」の5つの重要施策を着実に遂行し、成長、利益率の改善、株主還元の拡充\*1、ステークホルダーとのエンゲージメント強化を通じて、企業価値の最大化を図る

## 5つの重要施策 企業価値の最大化に向けて

	市場の成長性、競争力、サステナビリティにフォーカスしたポートフォリオ
	グループ全体におけるコスト構造改革
	分離・再編し、独立化を進める事業
	スリム化、デジタル化、エンパワースメント (旧名称「戦略遂行のためのスリムな組織」)
	戦略的なキャピタル・アロケーション



\*1 前期比での配当増加及び2025年度の配当性向35%を目標とする

\*2 ジレニア仲裁判断の結果を控除して算定したROICは3.6%

ご清聴ありがとうございました

ここで記す「説明会」とは、三菱ケミカルグループ株式会社によって説明または配布された本資料、口頭でのプレゼンテーション、質疑応答および書面または口頭等の資料を含みます。

本説明会および本資料における見通しは、現時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績予想と大きく異なる可能性があります。

当社グループは、機能商品、産業ガス、ヘルスケア、ケミカルズ等、非常に多岐にわたる事業を行っており、その業績は国内外の需要動向、為替、原油・ナフサ価格、調達数量、製品市況、技術革新、薬価改定、製造物責任、訴訟、法規制等によるリスクや不確実性が含まれています。

なお、医薬品（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。

三菱ケミカルグループは、三菱ケミカルグループ株式会社とそのグループ会社の総称です。  
本資料の数値はすべて四捨五入であり、予測はすべて概算値です。

\* 本資料は、2023/2/24の当社インベスターデイ2023および2023/10/20の当社 IR Day 2023 で公表した資料を一部抜粋しています。